



上手にお料理できたかな?みんなで作ると楽しいね☆
～鴛泊保育所すいか組 クッキング教室より～

平成24年 5月号

広報 

いしし富士

No.225

平成24年度 町政執行方針

ふるさとの元気と 輝きを求めて



平成二十四年度第一回利尻富士町議会定例会にあたり、町政に関する私の所見と予算編成の概要について申し上げます。町議会の皆様並びに町民各位の層のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

最初に、戦後私達が経験したことのない未曾有の被害をもたらし、我が国の経済社会に大きな影響を与えた東日本大震災から一年が経過いたしました。改めて被災された皆様方にお悔みとお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を利尻富士町民挙げて心からお祈り申し上げます。

さて、我が国の景気・経済・雇用・個人消費の動向等に目を向ければ依然として厳しい状況にあり、特に、地方自治体を取巻く環境は人口の減少や少子高齢化といった社会構造の変化、グローバルな経済変動などに起因する地域経済の疲弊は地方自治体の大きな転換期になっていることは否めません。

私は、町長就任時において「行政は継続なり」、「継続は力なり」と申し上げました。これは長期的な視野に立った行政の安定を図らなければ行政サービスの継続的向上が図ることはできないとの考えで申し上げたものであり、利尻富士町に住む人々が安心の中で生き生きと生活できるように魅力や可能性を求め続けて人づくりや地域コミュニティによる町民主体のまちづくりを推進しなければならぬと考えています。

以下、平成二十四年度の主要な施策については、「利尻富士町新まちづくり総合計画」の基本目標に従い申し上げます。

「平成二十四年度町政執行の目標」

- 1 豊かな自然と共生し
活力ある産業を育てるまち
- 2 温もりと思いやりのある
保健福祉のまち
- 3 安全で安心して暮らせる
快適な生活環境のまち
- 4 明日をになう心豊かな
人づくりと文化を育むまち
- 5 住民参加と協働による
健全な行政運営のまち

以下、具体的な施策について項目ごとに申し上げます。

一・豊かな自然と共生し 活力ある産業を育てるまち 水産業について

●昨年の利尻漁協における利尻富士町内の漁業生産額は十六億九千四百万円で、一昨年比では鬼脇地区が一〇一%、駕泊地区では九九%で全体的には九九%となっており、漁業に携わっている皆様のご苦労とご努力に敬意と感謝を申し上げます。ただ、その内容を分析しますと、サケ、ホッケ、蛸、ノナ、アワビが増産になったものの、ナマコ、天然昆布、養殖昆布が減産となっており、全体的には天然昆布が皆無状態であり、根付資源に頼っている多くの漁業者の皆様は厳しい状況にあったのではないかと思っております。その中で、今年養殖昆布の種昆布がこれまでにない位の生育状況で、天然昆布もこれからの時化や海水温に左右される部分があるものの、期待できるとの話を聞きながら、漁業者の皆様には今年は無事故で豊漁でありますことを心からお祈り申し上げます。

●資源増大に関する取組みとして、昨
年着工の「新朝日ふ化場」がこのたび
完成し、「ふ化事業」が始まりました。
この施設では六百五十万尾の稚魚が生
産でき一部は留萌沿岸に放流するもの
の、多くは北部日本の地場資源とし
て放流するもので、三〜四年後の沿岸
への回帰に期待しながら、施設整備の
実績や放流実績を踏まえて利礼地区の
特採枠や沿岸特採枠の拡大に向けて関
係機関への働きかけを行い、漁家経営
安定向上の一助となるよう努力します。

●港湾整備では、老朽化の進行と一部
で空洞化が確認されている鴛泊港のマ
イナス六、〇m岸壁（フェリー岸壁）
が直轄事業で改修予定になっています。



さけ稚魚放流式の様子

●観光について

●昨年の上期での観光入込客数は、前
年比で一万五千七百人減の十三万三千
五百人で八九・五%となりました。下
期の集計はされていないものの、昨年
の東日本大震災の発生時には、観光時
期直前の事故であり観光関係者の心配
も計り知れないものがあつたと思いま
すが、観光協会を始め宿泊業組合、観
光関係者の献身的な努力もあつて、そ
れなりの実績になったのではないかと
推測しています。

この改修事業に係る工事期間中は、現
在のフェリー岸壁の使用が不可能とな
ることから、その間はフェリーをマイ
ナス五・五m岸壁（RORO船岸壁）
にシフトすることになっており、この
ため三月中旬から六月末までの工期で
マイナス五・五m岸壁の改修と浚渫工
事を先行実施してフェリーを発着させ
その後マイナス六・〇m岸壁の改修
が始まることになっています。

●漁港・船揚場の関係は、雄忠志内漁
港を昨年に引き続き外防波堤（海中部）
の整備が予定されているほか、海岸整
備については鯉泊海岸局部改良事業で
護岸の嵩上げ改良が継続事業で実施さ
れることになっています。船揚場整備
では、自治会から要望のあつた「大磯
船揚場」を施設の機能向上を図りなが
ら整備を進めます。



映画「北のカナリアたち」ロケ風景

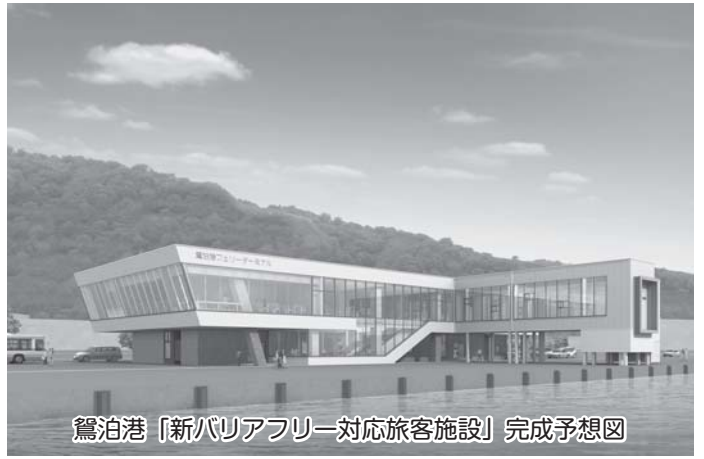
●観光関連施設では、昨年秋から利用
制限をしながら工事を進めていた「ペ
シ岬展望台遊歩道」、「北麓野営場」の
整備も完成し、今春の観光幕開けから
利用が可能となっています。観光施設
は昨年度までで大規模なものは整備さ
れたと思つていますが、今後はこれら
の施設を有効に活用するため管理の徹
底を図るとともに、最近いわれている
「街なか散策」に対応するため、市街
地を含めて近場の観光資源の発掘、整
備にも取り組んで参ります。

●昨年末から撮影が行われている映画
「北のカナリアたち」が、本年十一月
三日の公開が決定しました。これによ
り全国の東映系映画館で上映されます

が、最北の離島「利尻・礼文」に圧倒
的な迫力で迫る厳寒の冬、高山植物が
一面に咲き競う爽やかな夏風景などが
全国のスクリーンに映し出され、利尻
・礼文の魅力が一層高まることに期待
し、観光客の往来が映画「北のカナリ
アたち」によって益々高まり、地域や
観光の活性化の一助になれば幸いです。

●観光協会では、年々減少し続ける観
光客対策のため昨年十一月から事務局
職員（事務局次長）を新規採用し新た
な取組みを実施しようとしています。
これらを含めて観光協会に対する補助
金として、ANAに対するタイアップ
事業、九月の利用率向上のためのキャ
ンペーン経費などの増額や道の緊急雇
用創出事業を活用した観光アドバイザー
配置事業の委託料など、今年の観光
が町内を賑わせ観光関連業者に潤いが
あるよう、行政としてもできる限りの
支援をして参りたいと思つています。

●かねてより計画中であつた利尻島の
玄関口「鴛泊港」にバリアフリー対応
旅客施設を本年度着工します。この施
設の名称と愛称はこれから検討するこ
とにして、利尻島内でエスカレーター
を設備してバリアフリー化を図つた施
設は初めての施設だと思つております。
新ターミナルの供用開始は二十六年四
月を予定しており、それまでに「みな
とオアシス」への登録手続きを進めま



鷺泊港「新バリアフリー対応旅客施設」完成予想図

すが、完成した暁には地域住民や観光の方々との「交流の場」としても有効に活用でき、鷺泊港が一層の賑わいを見せるものと期待しています。

二、温もりと思いやりのある 保健福祉のまち

町民の皆様が、健康で安心して生活するために保健・医療・福祉が一体となった取組みが求められており、少子高齢化が進んでいる現実を直視しながら今年度も社会福祉関係団体や地域住民、自治会等と一体となって「地域のきずな」を深めながら「健康で生き

がいのある福祉のまちづくり」を目指して積極的に対応して参ります。

以下、主な執行施策を申し上げます。

保健・医療関係について

●保健事業では、各種がん検診や予防接種、乳幼児健診、乳幼児医療費の助成と育児支援、妊産婦検診支援もこれまで同様に実施するほか、「子宮頸がんワクチン接種」の継続と、新たに小児用ヒブ・肺炎球菌ワクチン接種も金額助成をもって実施します。

医療体制については、鷺泊診療所、道立鬼脇診療所と連携を図りながら、住民から安心と信頼を得ることができ、診療体制を充実させ、疾病の予防、早期発見に対処できるよう保健、医療サービスの向上に努めます。

生活・環境整備について

●生活環境整備では、現在は利尻郡清掃施設組合が実施しているし尿処理業務は施設の老朽化と、利尻富士、利尻両町の下水道が完備したことによるし尿処理量の低下などを踏まえて、今年度から利尻町の下水道前処理施設で一括処理することになりました。今後は、両町で行うことから、本町は「福祉課」で事務事業や受付業務を実施することになります。

地域福祉関係について

●地域福祉関係では、地域の方々が安心して生活できるよう保健福祉推進員や社会福祉協議会とも連携を密にしながら生活支援の相談体制を充実させるほか、ひとり親家庭等医療給付事業や低所得者層を対象とした燃料購入扶助事業を継続実施いたします。

高齢者福祉について

●高齢者福祉では、保健福祉センターや地域包括支援センターが中心となつて、生活予防支援事業の実施、昨年整備した高齢者台帳の有効活用を図りながら関係機関との連携強化や情報の共有に努め、地域の見守りと高齢者の支援活動を積極的に推進します。

●介護サービス施設においては、制度改正によって介護報酬が減額され、厳しい運営を余儀なくされているのも現実であります。今年度の施設運営にあたっては、質の高いサービスを提供するため職員のコミュニケーション能力を高め、チームワークによるサービスが提供できるよう指導の徹底を図ります。

障がい者福祉施策について

●障がい者福祉では、新たな障がい者福祉制度である「障がい者総合福祉制度」施行までの繋ぎ法案が二十二年十

月に施行され、低所得の障がい者には国の負担軽減策が明確化されたほか、施設入所者の生活や自立のための就業支援は確保されており、新制度の施行内容を見極めながら障がい者福祉施策を講じて参ります。

児童福祉・少子化対策について

●児童福祉では、今年度の保育所入所申込状況を見ると入所者の低年齢化が顕著になっており、その中で鷺泊・鬼脇保育所で九十九名の申込みがありました。このため保育ニーズの多様化に対応しながら、保育環境の体制を充実させます。

●高齢化・少子化対策で実施している妊産婦の出産支援と検診・分娩に係るフリー料金の全額助成と宿泊費の一部助成を継続し、高齢者に対する敬老バスについてもこれまで同様の内容で実施します。

各保険制度について

●介護保険・国保事業などの医療制度の関係では、四月から第五期介護保険計画がスタートすることから、「高齢者保健福祉計画」策定のため介護保健事業計画策定委員会を開催し、計画や介護保険料の設定などその内容を検討した結果、三月一日に策定委員会から答申を得ることができました。介護保険料は、基準介護費用の推計により現

在の月額「三、九四〇円」を道の基金交付金と町の積立準備金を活用することを前提に、月額「四、一〇〇円」に決定し、条例改正案を提案しておりますのでご理解願います。

三、安全で安心して暮らせる 快適な生活環境のまち

道路・市街地整備関係について

●今年度実施する事業として、町道富士岬八号線、鬼脇沼浦線（鬼脇葬苑まで）、駕泊一〇号線の改良を実施するほか、除雪対策としてロータリー除雪車一台を更新購入することになっていきます。

これまで補償が進められてきている駕泊市街地道路拡幅事業は若干の遅れはあるものの、今年度は本町地区の物件を対象に引き続き補償が行われることになっていくほか、町は道道に埋設している下水道・水道本管の移設が必要なことから、道からの補償のもとに移設工事を実施します。また、道道新道のためのボックスカルバート設置箇所路線確保のため港町地区に「仮道」を整備すると聞いています。さらに、本年度の道道関係では、継続して整備を進めている鯉泊地区の物件調査、用地買収、補償等が実施されるほか、橋梁についても点検・補修が行われます。

治山・治水・砂防関係について

●治山・治水・砂防関係では、町の事業は昨年引き続き鯉泊「渡辺地先」の小規模治山事業を実施し今年度の完成を目指します。

森林管理署関係では、ヤマナイ沢治山工事として溪間工設置1基、既設施設の補修・改良が予定されているほか、総合振興局では滝の沢川に床固工・護岸工を設置、稚内建設管理部では、沼の沢川で遊砂地工、豊漁沢川は除石工、流路工、えん堤改良を計画、雄忠志内川、アフトロマナイ川では床固工改良がそれぞれ実施される予定であり、これらの整備によって地域住民の生活の安全性が一層向上するものと期待しています。

利尻空港路線について

●利尻空港路線については、昨年十月から北海道エアシステム「HAC」による通年運航が開始され、今年の繁忙期（六月～九月）はANAも運行し二便体制となります。しかし、先般マスコミで「HAC」の経営状態が報道され危機感を感じているとともに、離島航空路線の維持は離島住民の生活、医療、観光、経済の活性化には不可欠な路線であり、この路線の維持・存続は住民の悲願であることから、先般、利札三町で要望書を北海道知事に提出し

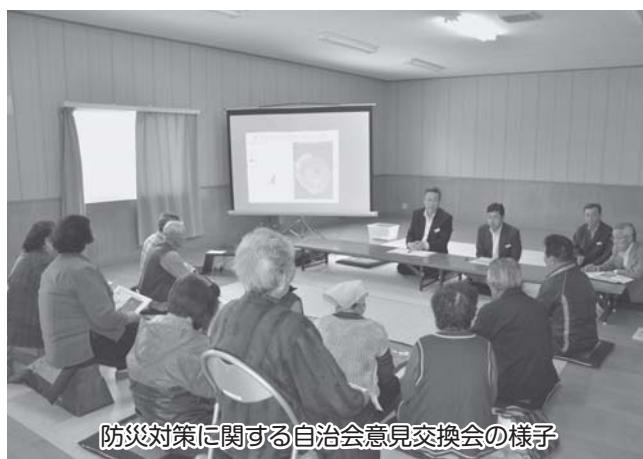
ております。その中で利尻～丘珠線を存続のためには搭乗率の向上を図ることが使命であり、これが対策のため国では離島航空路線維持のため赤字補填を実施しているほか、離島住民に対する助成も検討しているとの報道もあり、国の動向を見極めながら上乘せ割引も考慮しながら搭乗率の向上を図ります。また、利尻空港は開港五十周年を迎えることから記念事業を実施しますが、これらにかかる補正予算は第二回定例町議会に提案する予定です。

防災・交通安全対策について

●昨年発生した東日本大震災により、これまでの防災・減災対策のあり方や防災体制の見直しが急務となっております。地域防災計画は国及び道の防災諸計画との整合性を確保する必要があります。現在は北海道地域防災計画が見直しの段階で、これらの動向を見極めつつ本町の地域防災計画を改正しなければなりません。

一方、災害発生時の被害を最小限に抑えるには自助と共助による防災活動が極めて重要であることを今回の震災で認識させられました。このため、自主防災組織の結成や育成を支援しながら防災意識の啓発に努め、併せて住民の声を十分に反映させた避難区域、避難経路や避難場所などのあり方に再検討を加えながら、防災体制整備に地域

と一体となって取り組みます。その始めとして、町内の必要な箇所に津波防災表示標識を設置し、さらに老朽化した北海道総合行政情報ネットワーク機器（防災行政用通信回線）の更新費用を予算措置し、ハード・ソフトの両面から総合的な防災体制の確立に努めます。



防災対策に関する自治会意見交換会の様子

●利尻富士町の交通事故死ゼロの記録は、本年六月十四日をもって「二、五〇〇日」が達成します。この記録を単なる通過点として更なる目標を「三、〇〇〇日」と掲げながら交通安全運動を積極的に展開し、住民一人ひとりの交通安全意識を高め交通事故防止に努めます。

四．明日をになう心豊かな人づくりと文化を育むまち

※教育行政施政方針参照

五．住民参加と協働による健全な行政運営のまち

町民との協働関係について

●住民参加のまちづくりを進めるためには、地域住民と行政が「心と力」を一つにしなが、お互いが助け合える「協働のまちづくり」を推進するとともに、情報を共有し合える開かれた環境づくりが必要です。特に、自治会活動は住民自治の原点であり、より良いまちづくりという共通のパートナーとしての自治会活動を引き続き支援して参ります。また、町政運営における公正・透明性の向上と開かれたまちづくりを推進するため、地域の方々からの意見を聴取しながら施策に反映させるなど町民本位の地域づくりを進め、広報誌やホームページの充実と昨年導入したIP（アイピー）告知端末機の利活用を図って、住民が参加しやすい行政運営に努めて参ります。

平成二十四年度財政運営について

●本町の財政状況は、議会や町民の皆様方の行財政改革に対するご理解とご協力のもと、一般会計、各特別会計とも黒字決算となっており、町民の皆様も心配している財政健全化法に基づく四つの指標はすべて国の基準をクリアしています。

●平成二十四年度の予算においては、中・長期的な展望を持ち、限られた財源を重点的・効率的な配分に留意し、地域の皆様の安全な暮らしを守ることを念頭に予算編成を行ったところであります。

その中で、一般会計の建設事業費は、道道拡幅事業移転補償費を含めて八億千九百九十一万円、特別会計ではフェリーターミナル建設など三億六千五百五十六万円、合わせて十一億二千二百五十六万円を確保しているほか、二十三年度からの繰越明許費で実施する教員住宅整備事業費二千二百三十二万五千元、道道拡幅事業移転補償費四千七百万円、継続費ではフェリーターミナル建設事業費の二十三年度分で二億六千六百七十四万七千円となっており、二十四年度内で実施する事業費は総額で十四億四千八百七十三万七千円となっており、これらの事業費を持って町内の雇用対策、景気対策を講じようとするものであります。また、仮設フェリー

ターミナル整備事業費（建設費五千六百万円、借上料四百二十八万円）は、債務負担行為で二十三年度中に入札等を執行して実施するものです。

●一般会計歳入歳出予算の総額は三十九億七千三百万円とし、対前年度比で一億六千四百万円、率で四・〇％の減額予算となり、歳入歳出のバランスを維持するため、不足財源を財政調整基金から四千万円を繰入して収支の均衡を図っています。

一方、特別会計では簡易水道事業特別会計ほか九会計で総額二十億二千二百四十五万三千円で九・三％の増額予算となり、一般会計、特別会計の総額では五十九億九千五百四十五万三千円で〇・一％の増額予算となり、昨年度予算と同等程度の予算編成を行うことができましました。

以上、平成二十四年度の町政執行に臨むにあたり、私の所信の一端と主要な施策を申し述べましたが、国の財政状況が一段と厳しくなっている状況の中で、地方の行財政も呼応した運営が求められると思われ、地域力の強化が将来を左右する時代を迎えることが予想されますので、今こそ地域住民が一丸となって新総合計画の「ふるさとの元氣と輝きを求めて」の表題の目標に向かって邁進するため、町議会の皆様を始め町民皆様方の温かいご支援とご

協力を賜りますようお願い申し上げます、執行方針といたします。



平成24年度 建設事業一覧表

【一般会計】

単位：千円

	事業名	事業費
総務費	職員住宅階段改修工事	1,050
	コミュニティ広場補修工事	1,760
	土地購入	670
	りぶら階段手摺設置工事	525
	車両購入	1,350
	総合行政システム購入（既存・徴税）	2,602
	総合行政システム購入（既存・戸籍）	2,526
	総合行政システム購入	7,888
	計	18,371
民生費	鴛泊保育所屋根修繕工事	2,450
	計	2,450
衛生費	鴛泊火葬場火葬炉補修工事	2,451
	計	2,451
農林水産業費	小規模治山事業	13,000
	離島漁業再生支援交付金	48,360
	大磯船揚場整備工事	7,000
	計	68,360
土木費	町道改良工事	47,000
	町道補修工事	4,500
	姫沼駐車場防護柵改修工事	3,800
	ロータリー除雪車購入	33,000
	鴛泊港維持補修工事	2,600
	鴛泊港整備事業負担金	192,000
	利尻富士利尻線交付金工事用地取得事業	424,094
	飛行場標識施設補修工事	2,055
	空港施設電子ロック取付工事	1,020
	計	710,069
消防費	標高表示板設置業務委託	1,124
	光ケーブル移設工事	1,000
	新規加入者増設工事	1,000
	道総合行政情報ネットワーク更新整備負担金	2,325
	計	5,449
教育費	公民館非常階段改修工事	1,880
	公民館玄関前改修工事	1,710
	旭ヶ丘球場トイレ解体工事	530
	富士見ヶ丘球場トイレ解体工事	640
	計	4,760
	合計	811,910

平成24年度 教育行政執行方針



平成二十四年第一回利尻富士町議会定例会の開会にあたり、教育行政の執行に関する方針を申し述べますので、町議会並びに町民の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

昨年の東日本大震災による、想像を絶する大津波と東京電力福島第一原子力発電所の重大事故から一年が経ちましたが、今なお、被災した多くの児童生徒・教職員が避難生活を余儀なくされており、放射性物質の除染など学校

教育環境の一時も早い復興を願わずにはいられません。その被災地の映像が繰り返しテレビで放映される中で日本人の他人を思いやる態度や規律正しい行動が、世界中から賞賛されたことは大変誇らしく感じたところであり、日本社会を支えてきた『絆』が今もしっかりと存在し過酷な中にあつても将来に向かって一歩踏み出す大きな原動力になつていてることを教えてくれます。

今年、明治二十三年の開校以来、日々輝かしい発展を成し遂げてきた一二二年の歴史と伝統を誇る本泊小学校が、三月三十一日をもってその歴史に幕を閉じることになり、三月二十五日に閉校式典が開催されることになっております。今日に至るまで幾多の苦難や困難を克服して母校の発展にご尽力いただきました先達者のご労苦を偲びその偉業に敬意と感謝を申し上げますとともに、四月から篤泊小学校へ通学することとなる児童の安全確保や教育環境の変化には学校・保護者・地域の皆様と連携を密にした教育活動を推進してまいります。

一・学校教育の推進について

利尻富士町の子どもたちは良好な人間関係を築きながら学習に意欲的に取り組むなど、落ち着いた学校生活を送っております。子どもたちが楽しく生き生きと学び、心身ともに健やかに成長できるように、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の知・徳・体をバランスよく育てる教育を推進し、子ども一人ひとりの可能性の実現に向けて取り組みながら、児童生徒及び保護者の期待に応える魅力ある学校づくりを図ってまいります。

(一) 確かな学力の向上を図る

教育の推進

●子どもが必要感や目的意識をもって積極的に学習に取り組むよう、学ぶ楽しさやわかる喜びを実感できる授業の創造など、学習指導の改善・充実に取り組み、学校と一体となつて「確かな学力」の向上を推進してまいります。

●家庭学習を含めた各種テキストなどの購入に必要な予算を措置し、平成二十四年度中学校用教科書が改訂される

ことから、教職員が効率的で統一的な授業を行うことができるよう教師用指導教科書の整備を図ります。

●情報教育につきましては、教育用コンピュータや電子黒板の有効活用を図り、操作能力を養うばかりではなく、情報を正しく利用するモラルやマナーの育成など総合的な情報教育に取り組みます。

●国際理解教育につきましては、異文化に触れることや基礎的語学力の向上を図るため、利尻町と共同で配置している外国語指導助手（ALT）や宗谷教育局の支援によるALTの派遣事業を引き続き行います。中学校では英語授業が三ヶ年で一〇五時間増えることになり、コミュニケーションの基礎となる「聞く」「話す」「読む」「書く」の四技能を総合的に育成する英語学習の推進を図るほか、小学校高学年の外国語教育活動の充実を図ります。

●特別支援教育につきましては、篤泊小学校二学級、利尻小学校二学級の設置となりますが、特別支援学級補助員を引き続き配置するなど、障害の状態や発達段階に応じた適切な指導や必要

な支援を行います。

(二) 豊かな心を育む教育の推進

●子どもたちが、道徳的価値を自覚し自己の生き方についての考えを深めつつ、道徳的実践力を身につけていけるよう、「道徳の時間」の充実を図りながら、ボランティア活動や自然体験活動を通して子どもたちの道徳性を養います。

●確かな学力や豊かな心の育成につながる読書活動の推進にむけて、朝読書や読み聞かせなど読書習慣を定着させる取り組みを進めるとともに、学校図書の実用を図ってまいります。

●児童生徒の体力や運動能力の低下が指摘され、スポーツに親しむ習慣や意欲などを育成することが求められています。生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るための基礎を培う体育授業の充実や、運動部活動・少年団活動の支援に努めます。

●就学支援につきましては、経済的な理由がもとで学校生活に支障を来すことがあつてはなりませんので、児童生徒の保護者に対し学用品や給食費などの就学援助を行うほか、高校生や大学生には奨学金を貸与し引き続き経済的負担を軽減して幅広く有能な人材の育成を図ります。

(三) 信頼される学校づくりの推進

●学校は、保護者・地域住民の思いや願いを受け止めるとともに、学校経営方針や教育活動について説明し、家庭・地域と連携して信頼を築きながらその機能を果たしていくことが大切であります。

●新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の展開など、指導力の向上に向けた町内における研究・研修体制を支援するとともに、地域の人材を活用した「学校支援地域本部」との連携を図ります。

●信頼される学校づくりの実現には、子どもたちの教育に直接携わる教職員の資質・能力の向上が重要であり、教職員個々の課題やニーズに応じた各種研修会、講座等への積極的な参加を促すとともに、指導主事等による学校教育指導を通して各校の校内研修の充実を図ります。

●教職員の心身の健康の保持増進は、個人の健康問題にとどまらず、学校の教育活動を円滑に進める観点からも重要な課題であるため、教職員の健康管理対策の充実を図ります。

(四) 安全で快適な教育環境の充実

●子どもたちが安心して生き生きと学校生活を送ることができるよう、学校施設の整備・充実を図るとともに安全性の確保に鋭意努めてまいります。

●各学校においては「事件・事故はいつでもどこでも起こりうる」との認識のもとに、地域や関係機関と連携し子どもたちの安全を守るため、学校安全計画や危機管理マニュアルを作成し「安全・安心」の学校づくりに努めます。

●地震や津波など緊急時を想定した避難訓練を実施するほか、子どもたちが自ら身を守ることができるよう安全教育の指導、登下校時の交通安全指導の徹底を図ります。



交通安全教室の様子

●いじめや不登校については、人間関係の希薄化が共通する原因の一つとなっていることから、いじめは、「どの学校でも、どの子にも起こりうる」問

題であることを十分認識し、「いじめは人間として絶対に許されない」との認識に立った指導の徹底に努め、学校・家庭・地域が一体となっていじめ根絶に向けた取り組みを進めます。

二・社会教育の推進について

少子高齢化、過疎化が進んでいくと予測されている中で、町民一人ひとりが生きがいを実感でき充実した生活を送るためには、生涯各期に対応した学習活動を支援し社会の変化に対応する学習機会の充実など、豊かな学びを生涯にわたって実感できる環境づくりが大切となり、学校・家庭・地域が協働して教育の向上に取り組むことの必要性が高まっております。「いつでも・どこでも・だれも」が学習でき、その成果を適切に生かすことのできる生涯学習の実現に向けて、地域に密着した社会教育活動を推進してまいります。

(一) 生涯学習の推進

●「利尻富士町生涯学習推進計画」に基づき、趣味や教養、芸術文化、スポーツ、ボランティア活動など多様な学習機会を通じて、子どもから大人まで人と人がふれあい、町民一人ひとりが生きがいをもって生活できるよう、関係団体と連携を図りながら生涯学習を推進します。

●公民館については、地域住民が「学び、習い、ふれあう」ことのできる学習活動の場として心の豊かさを実感できる事業を展開するほか、親子の絆を育むための「ブックスタート事業」や図書ボランティアによる「読み聞かせ活動」を実施するとともに図書の整備充実に努めます。

(二) 青少年の健全育成

●利尻富士町青少年健全育成町民会議などの関係機関・団体との連携強化を図りながら、地域住民ボランティアの知識や技術経験を子どもたちの教育に生かす「学校支援地域本部事業」を展開します。

●地域リーダーを担う子どもたちを育成するため、北海道ジュニアセミナー事業への参加を継続するほか、利礼三町児童交流事業などの機会を通して児童生徒や異世代との交流を進めます。

●放課後子ども教室推進事業については、子どもたちの安全・安心な活動拠点づくりに取り組み、平日子ども教室・週末子ども教室・水泳教室・書道教室・カルタ教室・サッカー教室などを通年実施するほか、「夏休みチャレンジ教室」や「冬休みチャレンジ教室」を開催して長期休業時に子どもたちが地域社会の中で安全で安心して過ごせる場の提供を図ります。



利礼三町児童交流会の様子

(三) 文化・芸術活動の推進

●利尻富士町文化協会に対する助成を継続するとともに、生の芸術に直接触れることのできる巡回小劇場の開催や劇団四季の利尻公演など、心の豊かさや情操を高める活動を展開します。

●南浜獅子神楽の保存伝承を継続し、保存会の方々の協力を得ながら町内小中学生による民俗芸能や伝統文化に関する活動を推進します。

●利尻富士町役場遺跡の埋蔵文化財については、昨年から出土遺物を「りつぶ館」で展示公開しており、観光PR・地域住民・埋蔵文化財を結びつけた「知の拠点づくり」を一層推進します。

●各分野にわたり町内外に埋もれている郷土資料の収集、調査を継続して行うとともに、学芸員による出前講座など各種事業の推進について町広報紙、文化財日より「ポンモシリ」などにより町民への周知に努めます。

(四) 健康づくり・

スポーツ活動の推進

●町内においても健康志向の高まりや自由時間の増大に伴い、スポーツの重要性が益々高まってきておりますので、町民だれもが、それぞれの体力や年齢目的に応じて気軽にスポーツに親しむことができる環境整備を図ってまいります。

●昨年、総合型地域スポーツクラブ「利尻富士RIPS（リップス）」が発足して様々なスポーツ活動を展開していますので、多くの町民が健康づくりの活動やスポーツに気軽に参加できるよう、「利尻富士RIPS（リップス）」をはじめ体育協会などスポーツ振興に取り組む団体と連携強化を図り積極的に支援します。

●スポーツ活動の拠点となる総合体育館やパークゴルフ場などの体育施設は重要なポイントであり、今後も可能な限りの施設補修を行い効率的な施設運営に努めます。



以上、平成二十四年度の利尻富士町教育行政の執行方針について申し上げますが、その執行にあたっては学校・関係機関・関係団体と密接な連携を図りながら、本町の将来を担う子どもたちが、個性を伸ばし可能性を開花させ、未来に向かってたくましく成長していくことができるよう、また、創造性豊かな生涯学習社会の充実に向け全力で取り組んでまいりますので、町議会の皆様をはじめ、町民皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

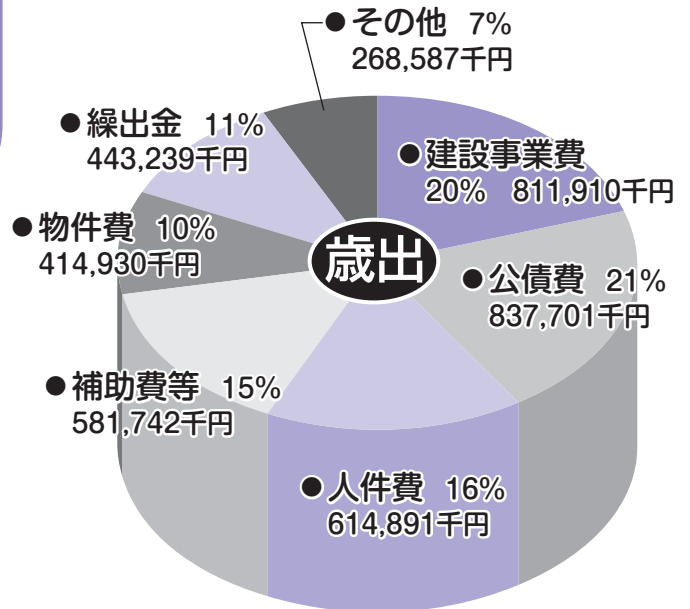
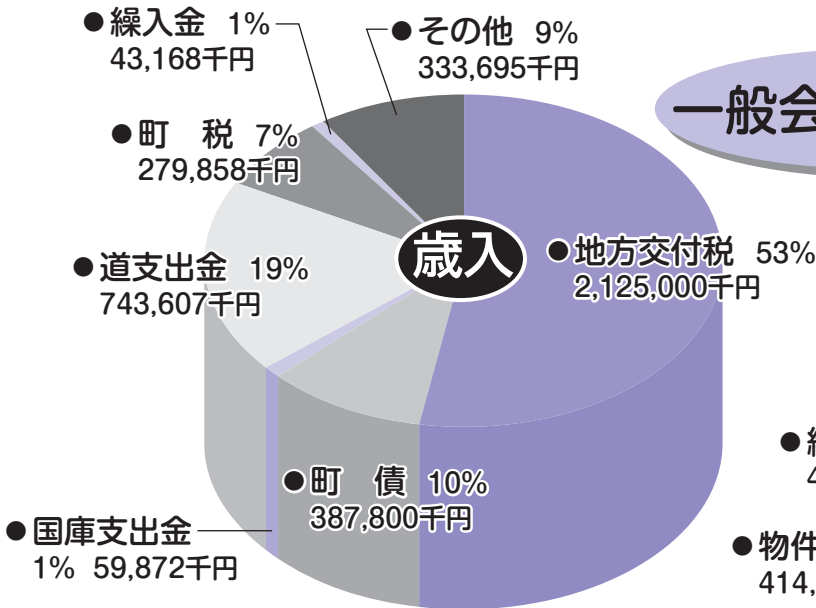
一般会計の歳入・歳出予算額は…

39億7,300万円

平成24年度の当初予算額は、前年度比4.0%の減となっております。特別会計の合計20億2,245万円と合わせた町の予算総額は59億9,545万円で、平成23年度当初予算と比較すると、約0.1%（781万円）の増額となります。

平成二十四年度の
予算概要
をお知らせします。

一般会計予算は？



■特別会計予算は

単位：千円

	平成24年度	平成23年度	比較
簡易水道事業特別会計	100,328	83,809	19.7%
下水道事業特別会計	237,863	275,773	△ 13.7%
港湾整備事業特別会計	216,998	51,990	317.4%
温泉事業特別会計	64,506	65,733	△ 1.9%
国保事業特別会計	468,471	456,988	2.5%
後期高齢者医療特別会計	46,047	40,594	13.4%
介護保険事業特別会計	316,652	306,287	3.4%
介護サービス特別会計	456,553	456,910	△ 0.1%
歯科施設特別会計	40,505	42,336	△ 4.3%
国保施設特別会計	74,530	70,229	6.1%
合計	2,022,453	1,850,649	9.3%

■目的別歳出予算

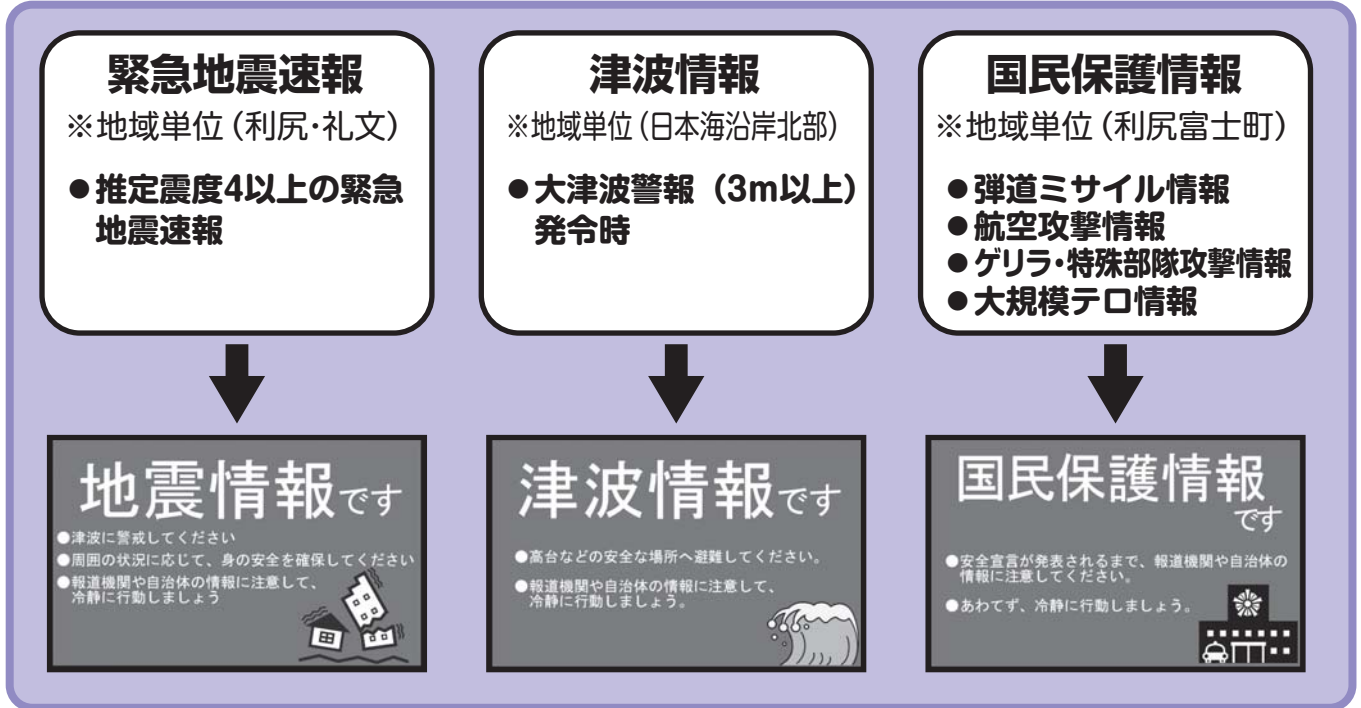
単位：千円

科目	予算額
議会費	50,435
総務費	418,653
民生費	471,113
衛生費	312,027
労働費	132
農林水産業費	107,158
商工費	154,887
土木費	1,207,114
消防費	174,519
教育費	230,899
公債費	837,701
諸支出金	5,361
災害復旧費	1
予備費	3,000
合計	3,973,000

IP告知端末による全国瞬時警報システムについて

平成23年の住民説明会でもお知らせしていますが、地震や津波など、重大な災害が発生する場合、災害情報が瞬時に、皆様のご自宅や各事業所に設置しているIP告知端末（テレビ電話）及び屋外スピーカーへ、自動的に放送される仕組みとなっています。

災害時には、速やかに情報を確認し、落ち着いて対応しましょう。



●重要なお知らせが届いたら…

①上記の画面イメージ（例）とともにサイレン音と音声メッセージが最大音量で流れます。

- 緊急地震速報……約7秒 ※3回繰り返し
- 津波情報……約4秒 ※3回繰り返し
- 国民保護情報……約10秒 ※3回繰り返し

②重要なお知らせは20分間表示し続けます。

③20分間表示した後はトップ画面に戻りお知らせのタイトルが赤く表示されます（右図）。

④お知らせは繰り返し再生することができます。



●こんな場合は…

○テレビ電話を使っているときにお知らせが届いた場合でも通話はそのまま可能です。（画面にはお知らせが届いた旨が表示されます）

○重要なお知らせの表示中もテレビ電話を使うことができます。

IP告知端末のお問い合わせは役場総務課企画調整係（82-1112）まで。

保健師だよ

福祉課すこやか保健係

町の雪も溶けて、ようやく利尻富士町にも春がやってきました。暖かくなったし、健康のために運動を始めよう、ダイエットを始めようと思っている方や、何か運動をしたいけど何をしたら良いかわからないという方もいらっしゃると思います。最近日はも長くなったため、早朝や夕方など、時間をみつけてウォーキングを始めてみませんか？

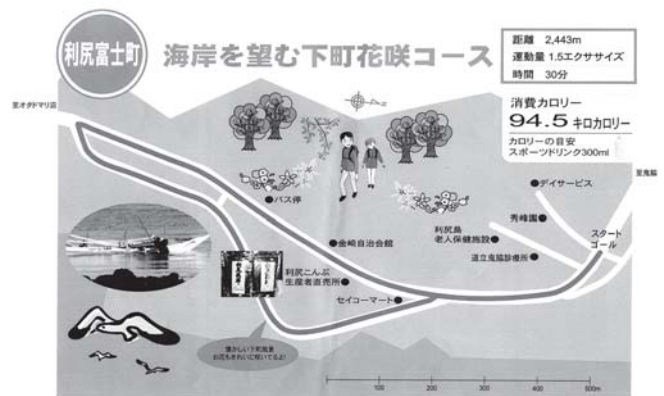
利尻富士町には、「すこやかロード」として、鶯泊地区に3コース、鬼脇地区3コースのウォーキングコースがあります。それぞれのコースを歩きながら利尻富士町の春を感じてみてはいかがでしょうか。

ウォーキングコース

〈鶯泊地区〉



〈鬼脇地区〉



※パンフレット設置場所：総合保健福祉センター◆フェリーターミナル◆鶯泊セイコーマート
利尻富士町温泉保養施設◆利尻漁協(本所・支所)◆公民館・鬼脇支所◆川一
オタマリ沼 亀一◆富士旅館

ご不明な点がございましたら、保健センター（電話 82-2320）までご連絡下さい。

優良運転者更新時講習忘れずに受講しましょう!

◆講習日程◆

日時：6月7日（木）
会場：鬼脇公民館

日時：7月5日（木）
会場：利尻町公民館

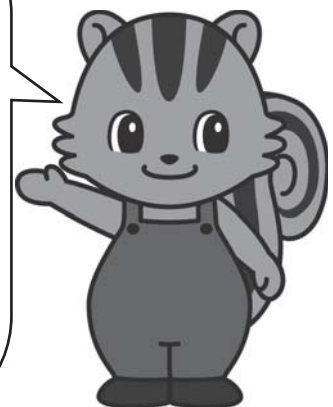
日時：8月7日（火）
会場：りぷら

日時：9月7日（金）
会場：利尻町「どんと」

●いずれも受付は午後5時から午後5時30分までとなっており、講習時間は午後5時30分から午後6時までとなっております。

●講習は沓形駐在所で更新手続きを済ませてから受講して下さい。
(更新手続きは毎週月・木の午前9時から午後4時まで行っています)

更新手続きの案内は期限1ヶ月前にハガキで通知がきます。



わがまち
タイムスりっぷ

連載②

利尻アイヌ史① 人口

江戸時代の利尻島には、道内各地同様、アイヌの人びとが住んでいました。1670【寛文10】年の『津軽一統志』という古文書には、300人ほどが暮らし、^{あきないば}商場として開設されていた場所を経営していた和人（松前藩）と交易していたことが記録されています。

その後、1803【享和3】年と5【文化2】年に流行した^{てんねんとう}天然痘により、利尻・礼文あわせて220人の死者を出したといわれています。その影響から、1806【文化3】年には、利尻37人、礼文71人まで減ったということが、『西蝦夷地日記』にみえます。

1850年代の安政期になると、利尻のアイヌは40人程度で推移しました。また、島での労働力不足を補うため、ソウヤやモンベツ、シャリから200～300人のアイヌを出稼ぎに連れてきたといわれています。



本泊地区に残されていた木綿衣

和服を利用したもので、チェーンステッチの刺しゅうがシンプルに施されています。

ご意見や情報は、教育委員会 山谷（電話82-1370）までご連絡下さい。



パイポー トーン

4人の 元気な赤ちゃんを 紹介するよ!



たか がわ こう
高川 航くん
H23. 8. 14 生
【両親】貴洋・笑美
【住所】栄町2

はじめまして、高川航です。夏の暑い日に鹿児島で生まれました。生えたての2本の前歯がチャームポイントです。ハイハイができるようになって、どこまでもママを追いかけています。どこかで僕を見かけたら、気軽に声をかけてください。



や おたに ゆい
八百谷 結心ちゃん
H23. 9. 5 生
【両親】優一・祥子
【住所】栄町2

はじめまして。八百谷結心です。色白でむちむち、フサフサの女の子です。思わず触りたくなるほっぺと手足です。だいたいピンクかいちご柄のものを身につけているので、見かけたら声をかけてくださいね。



さ さ き りん か
佐々木 凜花ちゃん
H23. 8. 28 生
【両親】翔馬・麻理沙
【住所】栄町2

みなさん、はじめまして凜花です。この名前はお父さんが付けてくれた私のお気に入り☆最近ひとりでお座りとパイパイが上手にできるようになってきました。町で見かけたら声をかけてね!



く どう い さき
工藤 衣咲ちゃん
H23. 11. 27 生
【両親】恵一・紫
【住所】野塚

はじめまして。いさきです。毎日、2人のお兄ちゃんに、かわいがられてもみくちゃんにされています。はやく大きくなってお姉ちゃんと一緒に、お兄ちゃんたちをやっつけてやりたいです。

会社・法人の印鑑証明書の 交付請求手続きが便利になりました

毎月、利尻富士町役場で開設している巡回登記所で印鑑証明書の交付請求をしていただく場合、4月から、特例として交付請求用紙に印鑑カードを添えて提出していただくと、法務局職員が確認し、印鑑カードはその場でお返しする取り扱いに変わりました。

これまでのように、印鑑カードをお預かりし、後日、印鑑証明書とともに郵送することによる紛失等の危険がなくなり、印鑑証明書がお客様に届く期間も短縮されます。是非ともご利用ください。

また、土地・建物の登記事項証明書や地図の写しを請求する場合に、登記・供託オンライン申請システムの利用を希望されるお客様には、巡回登記所のパソコンをご利用いただくことができます。

お気軽に申し付けください。

■お問い合わせ先■

旭川地方法務局稚内支局

〒097-0001 稚内市末広5丁目6番1号 ☎0162-33-1122

▽▽▽▽▽ 警察官ご紹介 ▽▽▽▽▽



鴛泊駐在所
小沼 諭

4月の異動により、札幌方面赤歌警察署から鴛泊駐在所に着任しました小沼と申します。家族は妻と昨年の秋に生まれた長男の3人です。初めての駐在所勤務になりますので、至らぬ点が多々あると思いますが、皆さんと共に安全安心な町を目指し、仕事に取り組んでいきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。



鬼脇駐在所
宗形 武

酪農の町、道東の中標津町から利尻富士町の鬼脇駐在所へ転勤してきました「宗形武47歳」です。利尻富士が大好きで利尻島での勤務を希望したところ願いが叶い来ることができました。来て早々の吹雪と通行止めには驚きましたが、毎日、美しい海と天をつくような利尻富士を見ていると、この島、この町へ来れて良かったとつくづく思います。今後とも御協力をお願いします。

戸籍の窓口

◆お悔やみ申しあげます◆

氏名	月日	年齢	住所
加藤 クニ	12.29	85歳	沼 浦
京谷 丈志	12.30	83歳	栄町1
松谷 サツ	1.1	83歳	大 磯
成田 順一	1.9	82歳	港 町
柴田ちゑ子	1.11	87歳	湾 内
工藤 静夫	1.12	88歳	沼 浦
山田ツギエ	1.17	78歳	野 塚
伊藤 力雄	1.18	76歳	栄町2
安達 節	1.19	79歳	湾 内
住吉由美子	1.29	66歳	富士岬
神 繁生	1.30	63歳	金 崎
吉田 幸作	2.6	82歳	栄町1
福岡 哲	2.8	86歳	栄町2
荒木 壽明	2.15	64歳	港 町
根井 ハル	2.17	98歳	秀峰園
田村 清美	2.18	91歳	秀峰園
堤 クニ	3.16	80歳	港 町
秋庭たけの	3.24	91歳	鬼脇1

♡ご結婚おめでとうございます♡

月日	氏名	住所
12.26	石川 純二	鬼脇2
	澤谷 千春	利尻町
1.17	山谷 文人	栄町1
	綿谷ちはる	鬼脇2

★お誕生おめでとうございます★

氏名	月日	保護者	続柄	住所
武田 桔平 (きっぺい)	12.3	達宜・美紀	二男	鬼脇1
澤田 拓 (たく)	12.6	学・美和	長男	二石
菅原 凜央 (りお)	12.11	康弘・舞	長男	鬼脇1
山中 陽路 (ひいろ)	12.25	昭奈・菜摘	長男	栄町1
近江美和翔 (みなと)	12.29	秀輝・静枝	長女	栄町2
福家 遼真 (りょうま)	1.15	鉄也・奈保子	長男	清 川
大関 心結 (みゆう)	1.21	託真・綾美	長女	栄町1
川村 旭陽 (あさひ)	1.31	英隆・未来	二男	鬼脇1
今井 晴音 (はるね)	2.3	敏明・幸代	長女	本 町
若林 碧乃 (あおの)	2.18	克典・佳代	長女	栄町1
矢田 冬羽 (とうわ)	2.24	充貴・あやの	二男	栄町1
加藤凜太郎 (りんたろう)	3.1	幸太・麻美	長男	栄町1
谷村 柊太 (しゅうた)	3.8	寛之・双葉	長男	富士野

編 集 後 記

5月も下旬になり、やっと暖かくなってきましたね。これからの時期はたくさんの観光客が利尻を訪れ、町が賑わいを見せるようになりますが、その反面、交通事故が多くなる時期でもあります。利尻富士町では6月に「交通事故死ゼロ2,500日」を迎えます。この機会に、今一度気を引き締め、安全運転に努めましょう。

交通事故死
ゼロ
2,483日
5月28日現在
(6月14日2,500日突破予定)
デライト運動実施中

人口のうごき (平成24年4月末現在)

	男	女	計	世帯
鴛泊	951	1,029	1,980	877
鬼脇	410	459	890	472
合計	1,361	1,488	2,849	1,349
昨年	△27	△32	△59	△32